

世界連邦宣言  
いま、一つの世界を  
自治体協新聞

発行  
世界連邦宣言自治体協  
全国協議会  
(事務局 = 京都府綾部市)  
〒7623-8501 綾部市若竹町8-1  
TEL (0773) 42-4217  
FAX (0773) 42-4905

# 核兵器禁止条約会議

## 再び延期に

本年3月にオーストリアの首都ウィーンで開催が予定されていた核兵器禁止条約(TPNW)の第1回締約国会議は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、延期されました。

同会議は本年1月に開催される予定でしたが、2回目の延期となります。

2021年1月に発効した核兵器禁止条約は、核兵器の開発や製造、保有や使用などを国際法で禁じることを定めるものであり、59の国(2021年12月23日現在)や地域が批准の手続きを終えたほか、条約に参加する意思を示す署名は86に上がっています。

核兵器禁止条約には、日本は参加していません。また、条約に参加していない国もオ

ブザーバーとしての参加は可能であり、国連などは多くの国の参加を呼び掛けていますが、日本政府はオブザーバーとしての参加も慎重な姿勢を示しています。

ロシアによるウクライナ侵攻をめぐり、ロシアのプーチン大統領の核兵器行使を示唆する発言や北朝鮮による度重なる弾道ミサイルの発射など、「核の脅威」は留まることを知らない状況です。

核兵器の廃絶を目指す、当協議会としても、昨年1月に核兵器禁止条約の発効に伴う声明を発表し、同時に日本政府に対し要請文(第40号に掲載)を提出したところです。

唯一の被爆国である日本が「核の脅威」を世界に対して発信することは重要な役割であ

り、引き続き当協議会として、戦争や核兵器のない世界を目指して取組を進めていきたいと考えています。

### 計報

## 世界連邦運動協会 海部俊樹会長ご逝去



海部俊樹会長の水がのイマークタネのネクスで、ト玉印

海部俊樹会長の水がのイマークタネのネクスで、ト玉印

世界連邦運動協会の海部俊樹会長(91)が1月9日、逝去されました。

政界を引退されてからは、平成22年3月から今日まで世界連邦運動協会、世界連邦推進日本協議会などで会長を務められ、恒久平和の実現に向けて、世界連邦運動にご尽力くださいました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

海部会長は平成元年8月から平成3年11月まで内閣総理大臣(第76・77代)を務めら

**当協議会とウクライナ**

ロシアによるウクライナへの侵攻は激しさを増し、犠牲者は増え続け、深刻な事態となっています。

当協議会として、何か行動を起こせないか、私たちにできることは何か、加盟自治体の皆様のご意見をお寄せください。

(事務局)

### 世界連邦推進事業交付金の申請を受け付けます

ウクライナ支援等に関する事業につきましては、世界連邦推進事業交付金の活用が可能ですので、令和4年度に事業を実施される加盟自治体におかれましては、交付金の申請を4月末まで受け付けますので事務局までご相談ください。

## 温かいご支援に感謝 善意の募金515万円に

当協議会が昭和61年から全国の自治体に協力を呼び掛けて実施する「世界平和と難民救済のための自治体職員1人100円募金」に、3月25日時点で173自治体から計515万円に上る善意をお寄せいただきました。

ご協力いただきました自治体の皆様、また事務をお執りくださった担当の方に厚く感謝申し上げます。

本年度、お預かりした募金は、国連UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とUNICEF(国連児童基金)等へ寄託し、ウクライナ避難民の支援や紛争・迫害で祖国を追われた人や、飢えと病気・貧困に苦しむ子どもたちの救済に役立てられます。

引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

次代を担う子どもたち

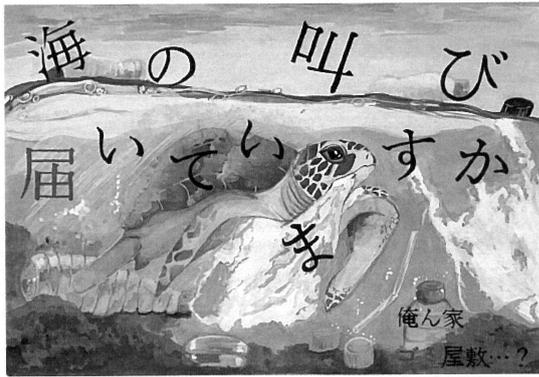
～世界連邦推進ポスター・作文コンクール～

世界連邦運動協会（会長代行：中野寛成）主催、当協議会と文部科学省後援の「第50回世界連邦推進全国小・中学生ポスター・作文コンクール」に、ポスターの部に68校1,138点、作文の部に41校477点の応募があった。今年はポスターの部・作文の部からそれぞれ18人が受賞した。

ポスターの部

文部科学大臣賞受賞作品  
「海の叫び届いていますか」

綾部市立八田中学校2年  
荒井 梨利花 さん

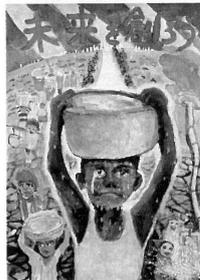


特賞受賞作品



海津市立城山小学校2年  
加藤 愛望 さん

富士宮市立大宮小学校6年  
東 善愷 さん



倉敷市立味野中学校3年  
佐々木 光菜 さん



今年の作品は、構成力が高く、技術の優れたポスターが多く、オリンピックやSDGsを題材とした作文が目立ったと審査員から講評がなされた。  
本コンクールは次代を担う小・中学生を対象として平和の尊さ、世界連邦についての理解を深めるとともに、平和教育に資することを目的として昭和47年から実施されているもので、今回、50回目を迎えたことから50回記念賞も贈られた。  
なお、例年東京で実施している表彰式は新型コロナウイルス感染症の拡大により昨年に引き続き中止となった。

作文の部

文部科学大臣賞受賞作品

「未来のために」

武蔵野市立境南小学校5年 大北 隼 矢

「一九〇〇年に十三・六度だった東京の平均気温は、二〇〇四年には十七・三度になった」という資料を見て、ぼくは驚いた。

「二・七度なんて、たいしたことない」と思うかもしれない。

けれど、冷蔵庫と冷凍庫の温度を、三・七度上げたらどうなるだろう。きっと、ぼくのアイスは溶け出して、お父さんのビールはぬるくなる。食材の足が早くなって、お母さんは困ってしまうにちがいない。

こうした小さな気温変化の積み重ねが、異常気象を生み出し、生態系を壊している。

このままだと日本は、夏がさらに暑くなり、四季を感じられない国になってしまう。ぼくは、暑いのは苦手だ。汗をかくのもいやだ。エアコン代もつたいない。だから、地球温暖化について真剣に考えようと思った。

地球温暖化の主な原因は、温室効果ガスだ。そのガスの七十六％は、二酸化炭素だ。

日本は、二酸化炭素を一年に十二億トン以上出している。その六十五％は、石油などのエネルギー使用時に出るといふ。さらに、日本人が使う製品は、生産から破きするまでの間に、大量の二酸化炭素を出すそうだ。

日本の社会は、エネルギー転換を図るべきだと、ぼくは考える。主要エネルギーは、太陽光や水力、地熱や風力、バイオマスにする。

家庭では、プラスチック製品の使用を減らす。まずは、一年に約三〇億枚、一人約三〇〇枚使うというレジ袋を、エコバッグに変える。マイボトルや紙ストローを選ぶ。テレビや電気のつけっぱなしに注意する。二酸化炭素が出ない乗り物、自転車移動する。

こういった、一人ひとりの小さな努力の積み重ねが、美しい未来を作っていく。

ぼくたちがおじいちゃんになっても、四季を感じられる平和な日本であり続けるように、自分ができることから始めていきたい。

ウクライナにおける武力衝突に対する抗議声明

ウクライナにおける武力衝突に対する抗議声明

ウクライナにおける武力衝突は、子どもを含む民間人が死傷するという憂慮すべき事態となり、断じて容認できるものではありません。

新たな国際秩序の構築を謳った私たち世界連邦宣言自治体全国協議会は、世界の恒久平和の実現に向けた活動を進めてきたところです。

私たちはこれ以上の犠牲者を出さないために即

刻戦闘が停止されることを望んでいます。

一人一人の生命を大切に、武力によらず、対話による平和的な解決を目指し、それぞれの立場で努力されることを願ってやみません。

令和4年(2022)年2月25日

世界連邦宣言自治体全国協議会  
会長 綾部市長 山崎 善也